

電子メール転送先の改ざん被害に伴う個人情報等の漏えいについて

平成30年6月22日

島根大学

1 事案概要

本学の教職員多数に対して、本学が利用している電子メールサービスの障害を装い、偽のサインインページへ誘導してパスワードを入力させる英文のフィッシングメールが届きました。

このメールに対し、教職員14名がパスワードを入力し、そのうち5名のアカウントにおいて、本人の意図しないメール転送先が不正に登録されていました。それにより、延べ397通のメールが外部に転送され、メールアドレスを含む個人情報が漏えいしたことが確認されました。

現在までのところ、本件事案に伴う被害や悪用の情報は確認されていません。

本学では、関係機関と情報共有を行いつつ、引き続き調査を進めているところです。

2 漏えいが確認された個人情報

附属病院の患者様の氏名及びID： 1件

※ 氏名及びIDのみで、他の診療情報の流出はありません。

転送されたメールの差出人及び受取人アドレス： 573件

電子メールの署名等に含まれる情報： 最大397件

3 これまでの経過及び漏えいが確認された情報等

(1) 経過・対応

日付	時間	概要
5/15(火)	午前	・2名が、誘導先サイトへパスワードを入力(5/23に発覚)。
5/23(水)	0:45頃	・多数の教職員宛にフィッシングメールが届く
	9:00頃	・不審なメールに関する問い合わせがCSIRTにあり調査開始 ・誘導先サイトへのアクセスを遮断(出雲キャンパス) ・10時までに新たに10名がパスワードを入力したことが発覚
	10:30頃	・緊急の注意喚起メールを教職員へ送信、誘導先サイトにパスワードを入力した人はCSIRTに連絡するよう周知。 ・誘導先サイトへのアクセスを遮断(松江キャンパス) ・パスワードを入力した教職員のパスワードをリセット(14時までに6人、17時までに2人、21時までに3人、翌24日13時までに1人)
	21:00頃	・パスワードを入力した教職員のうち、3名(教職員A, B, C)において、メールの転送先が不正に登録されたことが判明し、転送の設定を強制解除した。Aは5/16に、BとCは5/23に登録されたことが判明。

5/24(木)		・転送されたメールに含まれる個人情報の有無について確認作業を開始，25日に該当1件（患者様の情報）が判明。
5/30(水)	20:15	・教職員へ2回目の注意喚起を実施。
5/31(木)	19:16	・フィッシングメールが再度届いていることが判明。 教職員へ3回目の注意喚起を実施。
6/1(金)	11:50	・情報の漏えいが確認された患者様に対して連絡・お詫び。
	19:00頃	・ログ調査において，新たに1名，5/23に不正な転送先が登録されたユーザ（退職者D）が判明。 転送設定の解除，パスワードの強制変更を実施。
6/6(水)	9:00頃	・ログ調査において，新たに1名，6/5に不正な転送先が登録されたユーザ（退職者E）が判明。 転送設定の解除，パスワードの強制変更を実施。
	17:20頃	・これまで行った3回の注意喚起について，退職者等へ周知されていないことが判明したため，改めて注意喚起を行った。

4 対応について

(1) 氏名及びIDが漏えいした患者様について

- ・6月1日に本学医学部附属病院より事実をお知らせし，お詫び申し上げます。

(2) メールアドレスが流出した方及び署名等に情報が含まれる方について

- ・内容について引き続き調査を行い，順次説明とお詫びを行ってまいります。

5 再発防止について

- ・具体的な攻撃手法や，パスワードが漏えいした時に想定される被害等を含め，フィッシングメールをクリックしたときの対応やパスワードの取り扱いについて，改めて教職員に対し注意喚起を行います。
- ・本件事案を踏まえ，セキュリティ講習の内容，フィッシング対策訓練の内容，退職者への注意喚起の在り方等について，見直しを行います。
- ・本学構成員に対して，学内で行っているセキュリティ講習等の受講を促し，情報セキュリティ及び個人情報の管理について意識向上に努めます。
- ・技術面，システム面でのセキュリティ強化について検討を進めます。

本件に関する問い合わせ先

690-8504 島根県松江市西川津町1060

島根大学研究・学術情報機構総合情報処理センター 担当：松崎

TEL： 0852-32-6091

Mail： center@ipc.shimane-u.ac.jp

受付時間：

土・日・祝日・12月29日から1月3日及び8月13日から8月15日を除く平日

9:30 から 17:30 まで